

牛コロナウイルス病に注意しましょう！

中丹家畜衛生情報 No.28-49

平成 29 年 3 月発行

牛コロナウイルス病は、子牛の下痢の原因であるとともに、成牛でも晩秋から初春に激しい水様性下痢が、牛群全体に拡大し経済的損失が生じます。

今回、管内の繁殖肉用牛（成牛・子牛）及び乳用牛（成牛）で呼吸器症状を伴う牛コロナウイルス病が発生したので予防対策の徹底をお願いします。

○症状

- ・ 3～7 日の潜伏期間後、突然、血便を伴う激しい水様性血便
- ・ 短期間に牛群内で感染が拡大する（発病率 50～100%）
- ・ 発熱のほか鼻汁、発咳など呼吸器症状を呈する場合もある
- ・ 乳用牛では乳量が激減

○予防対策

- ・ 主に糞便中のウイルスをエサ等と一緒に、経口摂取して感染するので汚れた衣服は着替え、飼槽に近づく時は長靴を洗淨、消毒しましょう
- ・ 牛舎出入口には踏込消毒槽を設置、消毒液は頻回交換しましょう
- ・ 農場内への人や車両の進入を制限し、車両を消毒しましょう
- ・ 流行期前にワクチン接種すると発症を抑えたり、症状が軽減されます

京都府中丹家畜保健衛生所 福知山市字半田 371-2
TEL : 0773-25-1860 (夜間・休日も転送機能で連絡可能)